



ケニア

BOP層家庭訪問調査レポート

調査実施: 2014年11月
 調査場所: ケニア ナイロビ市ダゴレッティ地区 カワングワレ居住区
 調査対象: タビサ(仮名)さん一家
 換算レート: 1ドル≒86.4ケニア・シリング(2014年3月現在)



タビサさんの一家



家族構成	タビサさん 夫(別居。詳細聴取不可) 長男 20歳(国立モイ大学生、寄宿舎生活) 次男 16歳(私立単科大学生) この他、タビサさんの両親を扶養。
世帯収入	15,000シリング
職業	団地内の通りでフライドポテトの屋台を経営
勤務日数	週5日(土・日曜日休み)
交通手段	交通機関を利用するのは町や他の場所に行くときのみで、減多にないため、ほとんど利用しない。

収支内訳

月間収入内訳(シリング)

屋台の売り上げ: 月15,000

(この他、郊外で畑を耕し収穫物を換金しているが、金額は聴取不可)

月間支出内訳(シリング)

教育費: 約4,300(一学期(3ヶ月)13,000 注1)

家賃: 3,000

食費: 5,000

医療費: 約80(年間1,000 注2)

光熱費: 3,560(自宅で使う灯油・炭・蠟燭1,500、屋台でのチップス調理用の薪2,000、ラジオの電池60)

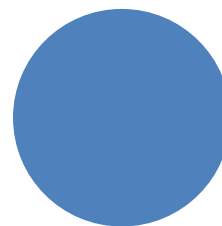
出資: 6,000(CHAMA支払い200/日 注3)

注1: 次男の学費(長男の学費は政府の高等教育ローン委員会のローンを利用)

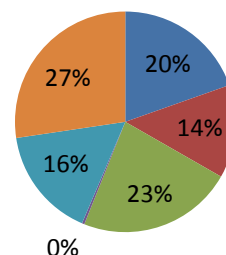
注2: 公共医療機関が比較的安いいため、健康保険には加入していない。

注3: タビサさんは貯蓄代わりにCHAMA(女性のマイクロ貯蓄グループ。頼母子講のようなもの)に加入しており、急な入費の際などの助けとなっている。

収入内訳



支出内訳

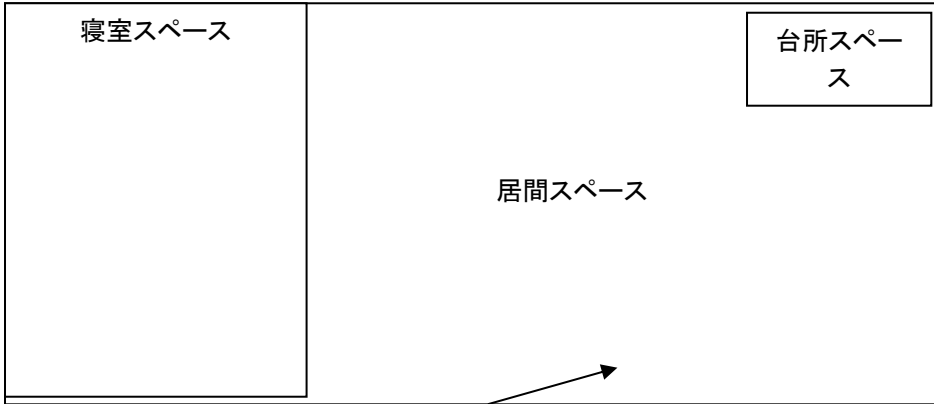




住居

市の中心から20kmの距離にある1部屋の石造り賃貸住宅。周辺は中・低所得層の家が密集している。トイレ、浴室、水道は共同で、電気は引かれてない。

間取り



照明用の蠟燭



石油コンロ



炭コンロ



ラジオ(唯一の情報源)



家電製品等: ラジオ (Sonitec(中国製)、電池式で750シリングで購入) のみ。
電気も引かれておらず、その他の家電を買うのは不要な出費と考えている。

儀式: 結婚式は伝統形式で結納を含め5,000シリングかかった。出産は、儀式は行わず、費用の安い公立病院で出産した。割礼は、儀式と治療等に10,000シリング程度かかる。葬儀には40,000シリング以上かかる。それらの出費は、友達や親戚、近所の人からの祝い金や香典で賄っている。祝日及び宗教の祭日は友達などと過ごし、食費などに1,000シリング程度かかる。



食事

ギゼリ(硬い玉蜀黍と豆の煮物)、ウガリ(玉蜀黍やキャッサバ粉を湯で練ったもの)、米が中心。魚は食べない。食材は露天市場と団地内のよろず屋で購入。保存手段が無いため、必要なだけ食材を買って料理し、食べきる。飲み水は煮沸して使う。



時間

	タビサさん	次男
5:30am	起床、朝食用意	起床、登校準備
6:00am	朝食	朝食、登校
7:00am	家事	
8:00am	仕事に向かう。	授業
9:00am	フライドポテト売り	〃
10:00am～12:00pm	〃	〃
1:00pm	昼食	昼食
2:00pm	フライドポテト売り	授業
3:00pm～5:00pm	〃	〃
6:00pm	〃	下校
7:00pm	〃	家事手伝い
8:00pm	夕食用意	宿題、勉強
9:00pm	夕食	夕食
10:00pm	家事	宿題、勉強
11:00pm	就寝	

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。